

今期のエルニーニョ現象は過去最大！

秋晴れの頃、冬の訪れも少しずつ感じられる季節となりました。本年は、お盆すぎから東京では140年ぶりに37日連続雨という記録的な長雨となり日照時間も少なく作物の生育にも厳しい気候になりました。

また、気象庁は10月9日発表の監視速報にて”エルニーニョ現象は過去最大”と発表にされました。

『カメムシが多いと大雪になる！』との昔から言われておりますが、因果関係はないとの事です…大阪や和歌山など西日本管内でもカメムシの大発生が報告されております。

“エルニーニョ”の影響による大雪も心配ですが、11月以降の日照不足も心配されます。

	エルニーニョ現象	ラルニーニャ現象
場所	南米ペルー沖の太平洋赤道域	
現象	温かい海水が東へ広がる。表面の水温が上がる。	温かい海水が西へ寄る。表面の水温は下がる。
日本への影響	冷夏や暖冬になりやすい。	夏はより暑く、冬はより寒くなる傾向

向こう3ヶ月の長期予想

10月
北・東日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。西日本と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。

11月
北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。北・東日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。東日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

12月
北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。北・東・西日本太平洋側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。西日本日本海側では、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。沖縄・奄美では、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。

日照不足などによる生育不良の回復に



葉面散布



葉面散布



通常施肥

GRO-STAR-1号

K雷斯-P

千代田化成



“圧倒的溶けやすさ”&“pHほぼ中性”のダブル効果！



低温でも効きやすい

千代田化成は中空構造のポーラス肥料。圧倒的な溶けやすさが特徴です。土壌面への施肥となる露地の追肥でも、乾燥し雨が少ない冬場でも、少ない水分で溶けることでイオン化して土壌に浸透、吸収されます。

※肥料は水に溶けてイオン化しないと作物に吸収されません！



・PICKUP
千代田化成ページ

GRO-STAR-1号 “高濃度での葉面散布可能”な液肥！

グロースターは**100倍**または条件によって**50倍**という高濃度での葉面散布が可能です。このため多量に吸収されたグロースターは迅速に、且つ抜群の効果を発揮します。日照不足などの生育不良には、**GRO-STAR-1号** がおすすめです。

種類	チッ素	リン酸	カリ	苦土	糖類
グロースター1号	6	2	3	0	5
グロースターM	1	5	3	1	9
グロースター2号	0	5	3	0	5

詳しくは、下記のQRコードからグロースター“技術資料”をご確認出来ます。



・上手な使い方
「葉菜類 編」



・上手な使い方
「果菜類 編」



・上手な使い方
「果樹類 編」

ケレス-P “亜リン酸と有機酸”で植物のエネルギー代謝をサポート！

西日本管内で ケレス-P ショウガ試験中

『9月29日生育状況』



定植日： 4月 10日
ケレス-P散布日 希釈倍数
・1回目 6/30 1,000倍
・2回目 7/10 1,000倍
・3回目 7/21 1,000倍
・4回目 8/ 2 1,000倍



9月29日生育確認実施
試験圃場場所では7月・8月の降水量が例年より少なくショウガの生育に影響が生じておりますが当該試験圃場については、
『降雨が少ない状況でも生育が良く地上部が大きく生長している！』
『根茎がよく肥大すると茎と茎の間隔が広がるので期待できる！』
との現状では高評価をいただきました。

☆葉面散布 6月30日から希釈倍率 1,000倍 にて約10日間隔の計4回散布実施

<ケレス-P今後の調査予定>
収量増(効果)を期待し、10月下旬頃の収穫時に根茎の状態確認を実施致します。

補足:『ケレス-P』は、水稻苗にも使用できます。
詳しくは、サンアグロニュースvol.69に掲載





編集:西日本営業部
尾崎、橋間、前畑